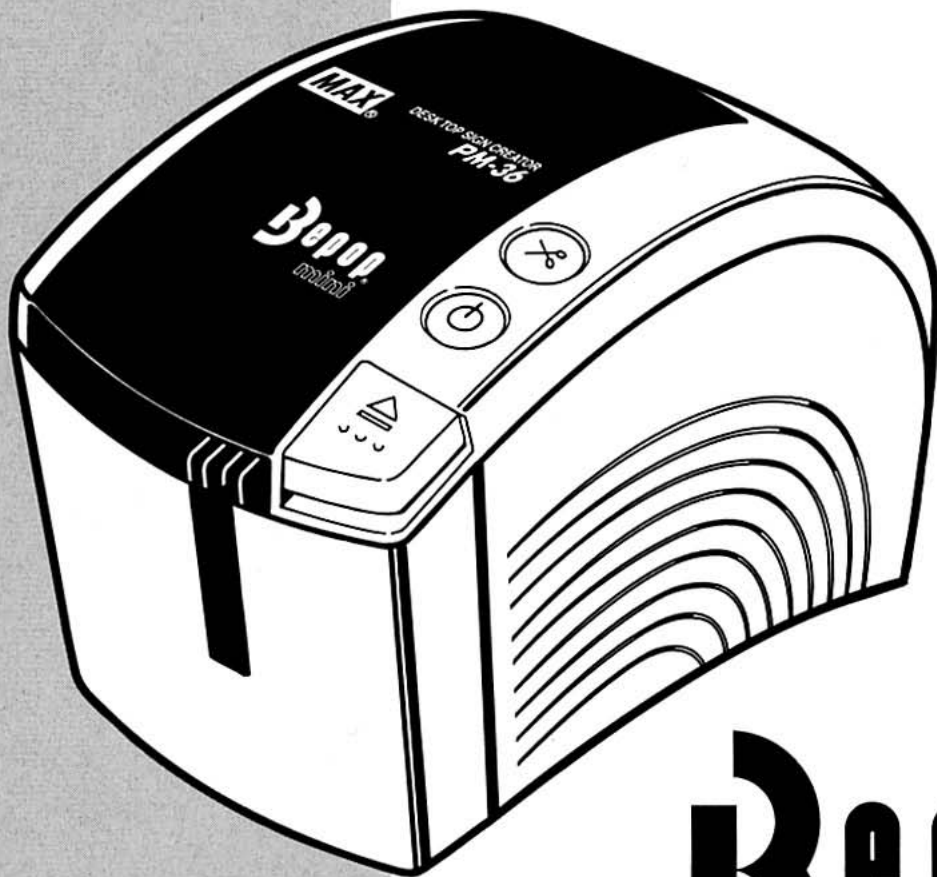
DESK TOP SIGN CREATOR

PM-36

取扱説明書

Bepop® mini

●ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
●この取扱説明書と保証書は必ず保管してください。
●本書の内容の一部または全部を無断で転載する事は禁じられています。
●本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

はじめに

必ずお読みください

この度はBepop mini PM-36をお買い上げ頂き有り難うございます。
本機はパソコンに接続して用いることにより、オリジナルラベルを簡単に作成できるラベル作成専用プリンタです。
本クイックリファレンスは、お使いになるための注意事項や最低限必要なことを記載しています。
ご使用の前に必ず本書をお読みの上、正しくお使いください。
なお、本書はお読みになった後も大切に保管してください。操作の詳細については、付属のCD-ROM内のマニュアルをご覧ください。

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

・本書の内容は将来予告なしに変更することがあります。
・本書の内容の一部または全部を無断で複写、転載することは禁じられています。
・本書の内容は万全を期して作成いたしましたが、万一不審な点や誤りなどお気づきのことがありましたらご連絡ください。
・万一、本機や本機で作成したラベルを使用したこと、および故障・修理などによりデータが消えたり変化したことで生じた損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求につきましても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。

安全上のご注意

● 以下に示す注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

表示と意味は次の通りです。

警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険の可能性があることを示しています。
注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、人が軽傷あるいは中程度の傷害を負う可能性が考えられることおよび物的損害のみが発生する可能性が考えられることを示しています。

本書で使用している絵文字の意味は次の通りです。

	特定しない禁止事項		分解してはいけません		水に濡らしてはいけません		火気を近づけてはいけません
	特定しない義務行為		電源プラグを抜いてください		アースをつないでください		
	特定しない危険通告		感電の危険があります		火災の危険があります		

⚠ 警　告

電源及び電源コード

・本機は、指定された電圧（100V）以外の電圧では使用しないでください。火災感電の原因になります。
・感電や火災防止のため、電源コード及び3極-2極変換アダプタ（日本国内でのみ使用可）は、必ず付属のものを使用してください。
・感電防止のため必ず保護接地を行ってください。付属の電源コードは、保護接地端子のある3極の電源コンセントに接続してください。やむを得ず2極コンセントを使用する場合は、付属の3極-2極変換アダプタ（日本国内でのみ使用可）を使用して、電源コンセントの保護接地端子に変換アダプタのアース線を確実に接続してください。
・保護接地線のない延長用コードを使用しないでください。保護動作が無効になります。
・電源コードの上に家具などの重いものを乗せたり無理に曲げないでください。火災・感電の原因になります。

異物が本機に入ったときは

・万一、異物が本機の内部に入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、さし込みプラグをコンセントから抜いて「お買い上げの販売店またはサービスセンター」にご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。

⚠ 警 告

分解しないでください

・本機を分解、または改造しないでください。火災・感電・故障の原因となります。内部の点検、調整、修理は、お買い上げの販売店またはサービスセンターにご依頼ください。
（分解、改造により故障した場合、保証期間内でも有料修理となります。）

水に濡らさないでください

・コーヒーやジュースなどの飲み物や、花瓶の水などを本機にかけないでください。火災・感電の原因となります。
万一こぼしたときは、速やかに本機の電源スイッチを切り、さし込みプラグをコンセントから抜いて、お買い上げの販売店またはサービスセンターにご連絡ください。

異常状態で使用しないでください

・煙がでている、変な臭いがするなどの異常状態で使用しないでください。火災・感電・故障の原因となります。すぐに本機の電源スイッチを切り、さし込みプラグをコンセントから抜いて「お買い上げの販売店またはサービスセンター」に修理を依頼してください。
お客様による修理は危険ですから絶対におやめください。

袋をかぶらないでください

・本機が入っていた袋は、お子様がかぶって遊ばないように、手の届かない所に保管または廃棄してください。
かぶって遊ぶと窒息の恐れがあります。

⚠ 注　意

電源及び電源コード

- 電源コードを火気・熱機器に近づけないでください。コードの被覆が溶けて火災・感電の原因になることがあります。
- さし込みプラグを抜くときは、必ずプラグを持って抜いてください。
  コードが露出、断線して火災・感電の原因になることがあります。
- 濡れた手でさし込みプラグに触らないでください。感電の恐れがあります。
- 付属の電源コード以外はご使用にならないでください。本機が故障する原因となります。
- 本機を清掃などのお手入れをされるときは、さし込みプラグをコンセントから抜いてください。感電の恐れがあります。

上にものを置かないでください

- 本機の上に重いものを置かないでください。バランスが崩れて倒れたり、落下してけがをする恐れがあります。

テープカッターについて

- テープカッターには直接手をふれないでください。けがをする危険があります。

目次

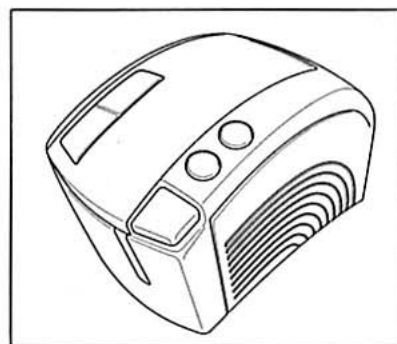
第1章　お使いになる前に

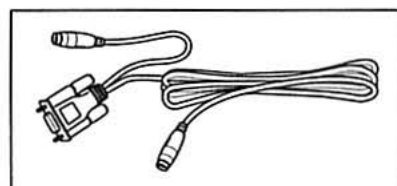
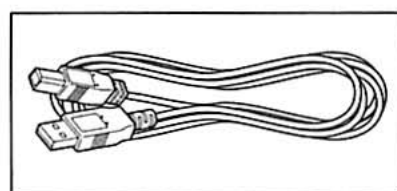
本章では「Bepop mini PM-36」を正しくお使いいただくための
準備について説明します。
お使いになる前に必ずお読みください。

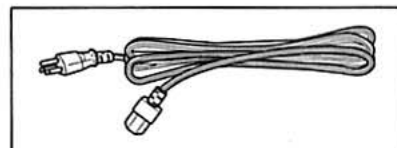
パッケージ内容

本製品を使用する前に、パッケージの内容を確認してください。
なお、出荷時には細心の注意を払っておりますが、不備な点がありましたらお買い上げの販売店までご連絡ください。

●「Bepop mini PM-36」の商品構成

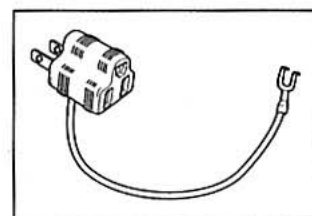
◆ PM-36（1台）

◆ パソコン接続ケーブル（2本）

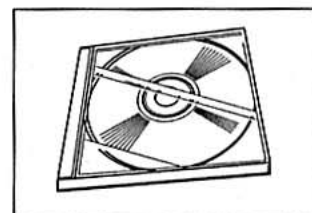
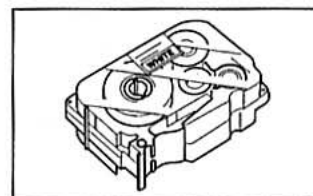
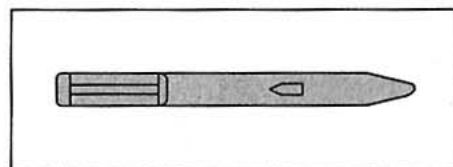
シリアル

USB

◆ 電源コード（1本）

PM-36専用の電源コードです。

⚠ 注意

故障・事故防止のため、必ず付属の電源コードをお使いください。
なお、電源コードを傷つけたり、加工したりしないでください。感電や本体の故障につながり危険です。

◆ 3極-2極変換アダプタ（1個）

電源コンセントが保護接地端子を備えた3極コンセントでない場合に使用します。

◆ PM-36プログラム ディスク（CD-ROM　1枚）

エディタプログラム、プリンタドライバ、フォントファイル、取扱説明書などが納められています。

◆ テープカセット（ラミネート36mm幅　銀つや消しテープ　1巻）

◆ ラベルスティック（1本）

◆ クイックリファレンス（本書）
◆ テープカタログ（1枚）
◆ 保証書（1枚）

仕様

● 使用するテープ

レタリテープ　　6/9/12/18/24/36mm幅
（テープカタログを参照ください。）

● ハードウェア

表　　示	LEDランプ（緑／オレンジ／赤）
印　　刷	熱転写、360dpi・384Dot 最大印刷幅　　27mm（テープ幅36mm使用時） 印刷速度　　20mm／秒 印字品質を確保するために連続して印刷を行うと、印字速度が遅くなることがあります。
スイッチ	電源ON／OFFスイッチ、FEED／CUTスイッチ
電　　源	AC100V 50/60Hz
消費電流	約0.5A（印刷時）
インターフェイス	シリアル（RS-232C）USB（Ver 1.1）
寸　　法	120 (W) × 150 (H) × 250(D) mm
重　　量	約1.5kg
カッター	フルカッター／ハーフカッター

● 動作環境

パソコン	**シリアル接続の場合** Windows®95/98/98SE/Me、Windows®XP、Windows®2000またはWindows®NT4.0（CPUはx86系に限る）がインストールされ、シリアル（RS-232C）ポートを装備したPC * Windows® NT4.0サービスパック3をご使用の場合はパッチ（Microsoftの文章番号031655のモジュール）のインストールが必要です。 **USB接続の場合** USBポート標準装備でWindows®98/98SE/MeがプレインストールされたPC USBポート標準装備でWindows®2000/XP対応されたPC * Windows®2000については、Windows®2000 professionalのみ対応しております。（Server版は非対応です。） * プログラムはCD-ROMによる供給です。インストールはCD-ROMドライブが必要となります。
ポート	シリアル または USB
ハードディスク	20MB以上の空き容量 * 印刷によっては、一時的に100MB以上の空き容量が必要になる場合があります。
メモリ	Windows®　　　　：32MB以上

使用上の注意

本製品を安全に正しく使用していただくため、以下の点に気を付けてください。

● Bepop mini PM-36

- カッターには触らないでください。
  カッターを触るとケガをするおそれがあります。テープの交換でフタを開けたときなどは、特に注意してください。

- プリントヘッドには触らないでください。
  プリントヘッドは作動中、大変に熱くなります。電源スイッチを切っても、しばらくは熱くなっていますので注意してください。

- 電磁妨害のもとになる機器の側には、置かないでください。
  テレビなどの近くに置くと、誤動作する可能性があります。

- 直射日光に当てないでください。

- 極端にほこりっぽい場所や高温、多湿、または凍結する場所での使用は避けてください。
  故障や誤動作の原因となります。

- 電源コードは、付属の物を使用してください。

- インターフェースケーブル（シリアル／USB）は付属の物を使用してください。

- 長期間使用しない場合は、電源コードのさし込みプラグをコンセントから抜いておいてください。

- 塗装はげやキズの原因となりますので、アルコールなどの有機性溶剤では、掃除しないでください。
  汚れは柔らかい乾いた布で、拭き取ってください。

- ゴムやビニールを長期間、本体の上に置かないでください。
  しみになることがあります。

● テープ

- テープを引っ張らないでください。
  テープカセットが壊れる原因となります。

- テープを貼り付ける面が濡れていたり、埃・脂で汚れている場合には、テープが剥がれやすくなる場合があります。あらかじめ清掃した後、テープを貼り付けてください。
- 被着体の材質、表面状態、凹凸、曲面、環境条件等によって、テープの一部が浮いたり、剥がれたりする場合があります。

- 特別に接着強度・安全性が必要な条件下で使用する場合は、あらかじめ目立たない場所で、確認・試験をした後、使用してください。

- テープを屋外で使用する場合は、紫外線・風雨等の影響で、テープの色褪せが生じたり、テープの端部が浮いたりする場合があります。

- 油性あるいは水性ペンなどで書かれた上に直接テープを貼り付けると、インクが透けて見えてしまうことがあります。2枚重ねて貼り付けるか、濃い色のテープを使用してください。

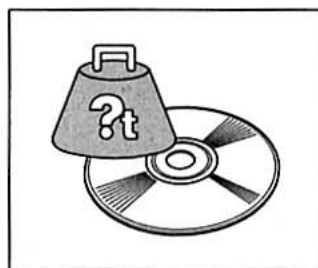
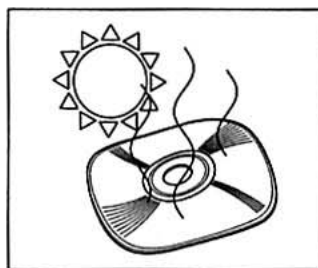
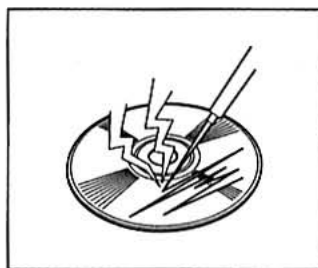
- 同梱の銀（つや消し）テープを電子レンジに入れないでください。

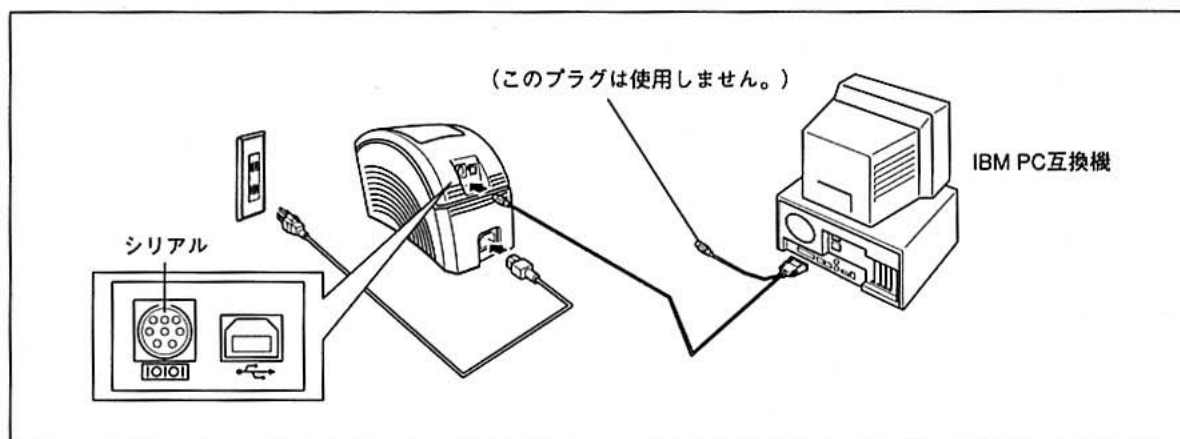
- なお、これらによって生じた損害等については、責任を負いかねますので、あらかじめご承知おきください。

● CD-ROM

- 傷を付けないように注意してください。

- 極端に高温、あるいは低温の場所に置かないでください。

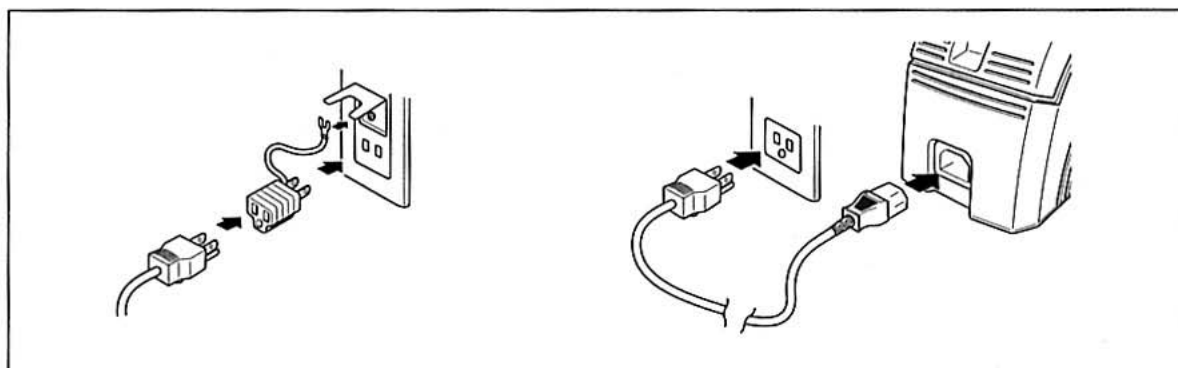
- 重い物を乗せたり、力を加えないでください。

プリンタの接続

以下の手順と接続図にそってPM-36とパソコンの接続を行います。
シリアルポートに接続される場合

1. 接続の前にPM-36とパソコンの電源が、OFFになっていることを確認してください。

2. PM-36のコネクタ（IOIOI）とパソコンのシリアルコネクタを、付属のシリアルケーブルで接続します。

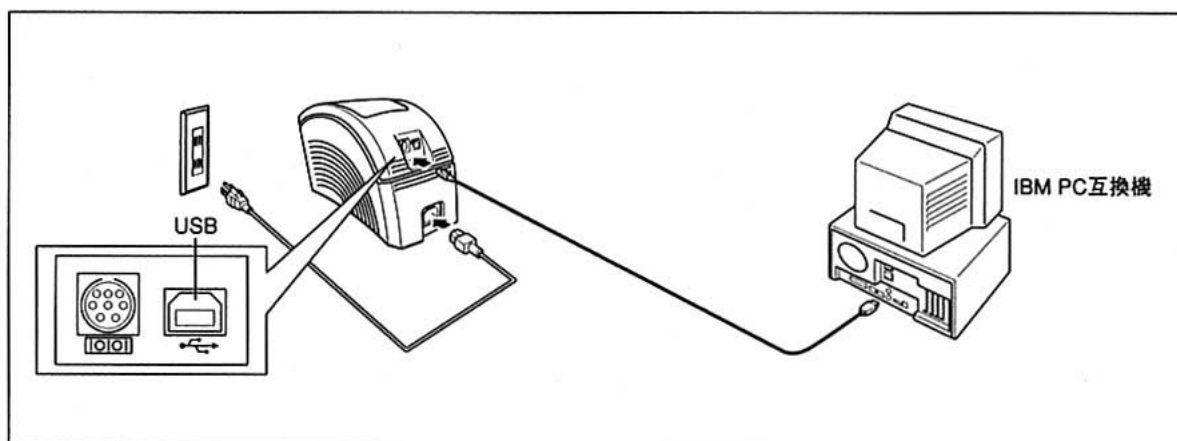
⚠ 注意
パソコンの一部の機種ではシリアル(RS-232C)コネクタの形状が特殊なため、接続できないことがあります。その場合は市販の変換アダプタを使用してください。

3. PM-36に電源コードを接続します。

4. 電源コードの差し込みプラグを電源コンセントに差し込みます。
   電源コンセントは、保護接地端子を備えた3極コンセントを使用してください。やむを得ず2極コンセントを使用するときは、付属品の3極-2極変換アダプタを使用して、アダプタから出ている緑色のアース線を必ず電源コンセントの保護接地端子に接続してください。

5. PM-36とパソコンの電源をONします。

USBポートに接続される場合

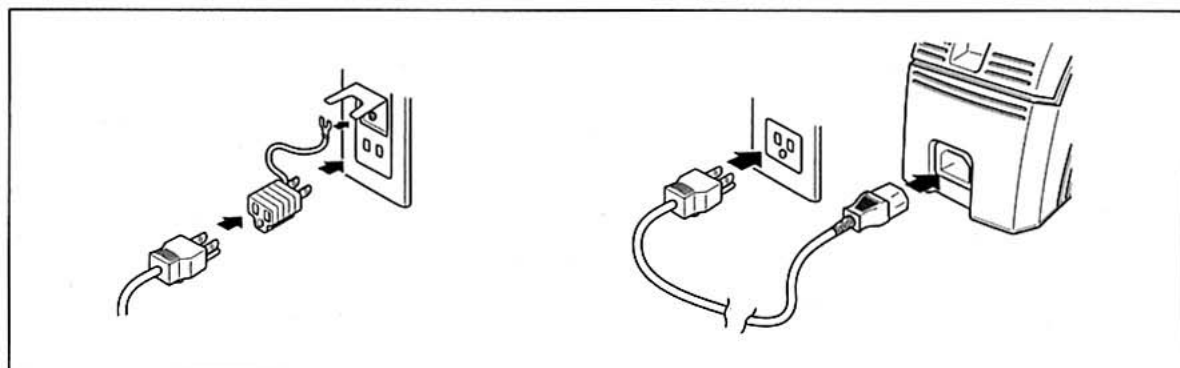
⚠ 注意

初めてパソコンにP-touch Editor Version 3.1をインストールされる場合は、PM-36のコネクタとパソコンのUSBコネクタをUSBケーブルで接続した後、PM-36の電源はONしないでください。インストール方法は21～24ページのインストール手順を参照し、手順に従ってPM-36の電源をONしてください。

1. PM-36のコネクタ（•⭠→）とパソコンのUSBコネクタを付属のUSBケーブルで接続します。

⚠ 注意

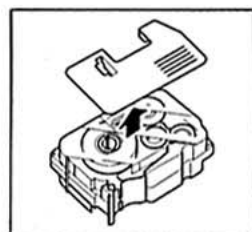
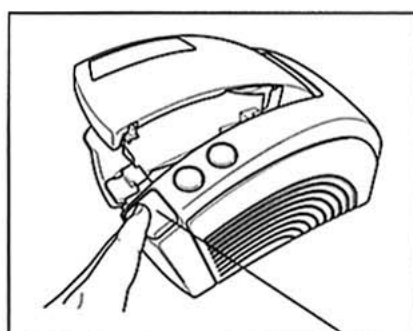
- **PM-36本体にシリアルおよびUSB両方のケーブルを同時に接続してのご使用は避けてください。本体の故障の原因となるおそれがあります。**
- **USBに接続で、ハブを介しての接続の際、ハブの機種によってはうまく接続できない場合があります。ハブを介してうまく印刷できない場合にはUSBケーブルを直接パソコン本体のUSBポートに接続しておためしください。**

2. PM-36に電源コードを接続します。

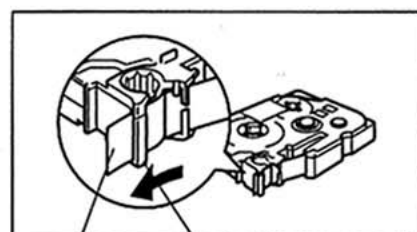
3. 電源コードの差し込みプラグを電源コンセントに差し込みます。
   電源コンセントは、保護接地端子を備えた3極コンセントを使用してください。やむを得ず2極コンセントを使用するときは、付属品の3極-2極変換アダプタを使用して、アダプタから出ている緑色のアース線を必ず電源コンセントの保護接地端子に接続してください。

テープカセットの準備

PM-36とパソコンの準備ができたら、テープカセットを使えるように準備します。

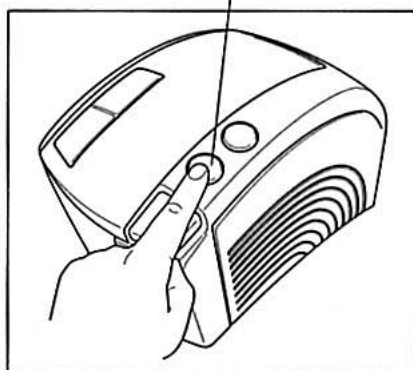
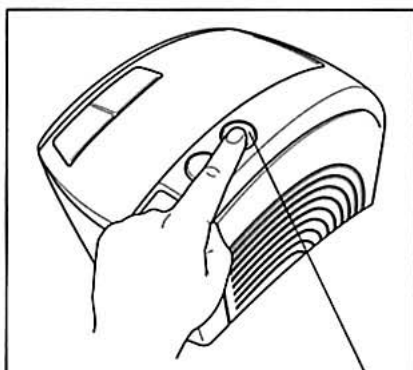
● テープのセット

1. 新しいテープカセットには、ストッパー（カセットの種類によっては付いていないものがあります。）が取り付けてありますので、取り外してください。

2. ＜カバーオープン＞ボタンを押してカバーを開きます。

3. テープカセットを奥までしっかり入れ、セットします。
   方向を間違えるとセットできませんので、気を付けてください。

▲ 注意

このとき、テープの先端が曲がっていないこと、テープガイドを通っていることを確認してください。

4. カバーを閉めます。

5. PM-36の＜電源＞ボタンを押してONにします。
   電源が入ると前面のLEDランプが赤色に点灯し、すぐに緑色に点灯します。

   カバーが完全に閉まっていない又はカセットが入っていないとLEDランプが（オレンジ）点灯します。カバーを閉め直してください。
   スイッチを押してもLEDランプが緑色に点灯しない場合は、「トラブルシューティング」を参照してください。

6. ⊗ ＜FEED/CUT＞（テープ送り）ボタンを1回押してください。カセット内のテープのたるみが取れます。

● テープの交換

1. PM-36の＜カバーオープン＞ボタンを押してカバーを開きます。

2. テープカセットを取り出します。

3. 新しいテープカセットを奥までしっかり入れ、セットします。
   方向を間違えるとセットできませんので、気を付けてください。

4. カバーを閉めます。

5. ⊗ ＜FEED/CUT＞（テープ送り）ボタンを1回押してください。カセット内のテープのたるみが取れます。

> **⚠ 注意**
> プリンタの内部にはカッターがあります。
> テープの交換時には手を触れないよう、十分に気を付けてください。

第2章　プログラムのインストール

本章ではプログラムのインストールについて説明します。

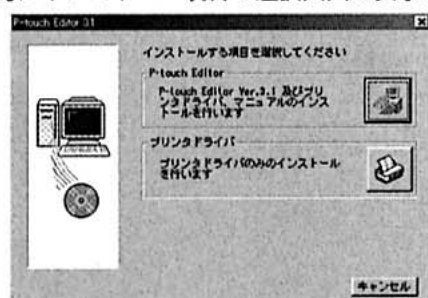
P-touch Editorのインストール

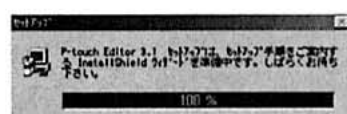
P-touch Editor Version 3.1とプリンタドライバのインストール（Windows® 95/98/98SE/Me/NT 4.0/2000/XP）

以下にP-touch Editor Version 3.1とプリンタドライバのインストール手順を示します。

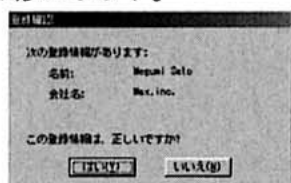
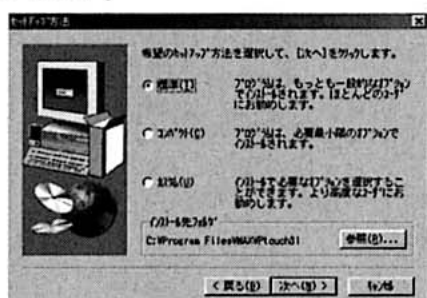
● P-touch Editor Version 3.1のインストール

> **⚠ 注意**
>
> シリアル接続の場合
>
> P-touch Editorとプリンタドライバをインストールする前に、13ページのプリンタの接続を参照してPM-36とパソコンを接続し、PM-36の電源をONしてください。
>
> USB接続の場合
>
> P-touch Editorをインストールする前にPM-36の電源をONしないでください。インストールが正しく行われない可能性があります。必ず20ページの、プリンタドライバのインストールの手順に従ってPM-36の電源をONしてください。

1. 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。自動的にインストール項目の選択画面が表示されます。

インストール画面が自動的に表示されないときは、デスクトップ上の「マイコンピュータ」をダブルクリックし、CD-ROMを挿入したドライブをクリックします。（Windows®XPの場合は、スタートメニューの中のマイコンピュータをクリックし、CD-ROMを挿入したドライブをクリックします。）「Ptsetup.exe」アイコンをダブルクリックすると、インストール画面が表示されます。

2. <P-touch Editor>アイコンをクリックします。InstallShieldウィザードが起動し、プログレスバーが100%になると、「ようこそ」画面が表示されます。

3. 内容を確認して、よろしければ<次へ>ボタンをクリックします。

4. ユーザー情報を入力して、<次へ>ボタンをクリックします。
Windows®にユーザー情報が登録されている場合は、その情報が表示されます。

5. 登録確認の画面が表示されます。
表示されている内容でよろしければ<はい>ボタンをクリックします。修正する場合は<いいえ>ボタンをクリックして、表示されたユーザー情報登録画面で修正します。

6. インストール方法を選択して、<次へ>ボタンをクリックします。

- **「標準」または「コンパクト」を選択した場合**

「標準」または「コンパクト」を選択して、<次へ>ボタンをクリックするとインストールが始まります。

標準：　P-touch Editor Version 3.1のもっとも標準的なインストールです。P-touch Editor Version 3.1、クリップアート、オートフォーマット、ヘルプ、欧文フォント13書体がインストールされます。

コンパクト：　P-touch Editor Version 3.1のみをインストールします。

- **「カスタム」を選択した場合**

「カスタム」を選択すると、必要な項目のプログラムだけをインストールできます。チェックマーク☑が付いている項目がインストールされます。☑をクリックして□にすると、その項目はインストールされません。「標準」でインストールされるもの以外に、マニュアル、日本語フォントを選択することができます。

① インストールする項目を選択して、<次へ>ボタンをクリックします。

エディタ：　P-touch Editor Version 3.1のメインプログラム

クリップアート：　P-touch Editor Version 3.1用のクリップアート集

フォント：　フォントファイル（和文9書体、欧文13書体）

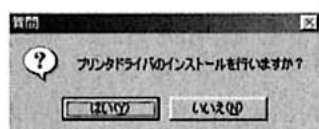
オートフォーマット：　オートフォーマット集

マニュアル：　P-touch Editor Version 3.1の取扱説明書（HTML）CD-ROM上で閲覧することができます。

ヘルプ：　P-touch Editor Version 3.1のヘルプファイル

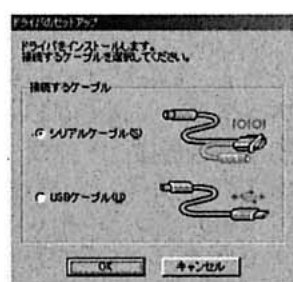
また、<変更>ボタンが薄くグレーで表示されていない通常表示の場合は、サブコンポーネントがあることを表しています。<変更>ボタンをクリックすると「サブコンポーネントの選択」画面が表示されます。チェックマーク☑が付いているものだけをインストールすることができます。ただしインストールしないものがある場合、その機能が使えなくなりますのでご注意ください。
<次へ>ボタンをクリックすると「オプション選択」画面に戻ります。

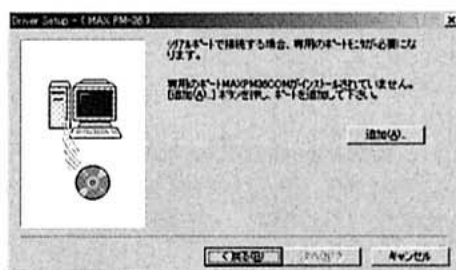
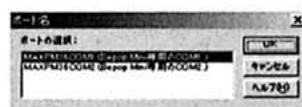
② <次へ>ボタンをクリックすると、プログラムのインストールを開始します。

7. エディタのインストールが終了すると、プリンタドライバのインストールを行うかどうかの質問画面が表示されます。

＜はい＞ボタンをクリックして、プリンタドライバのインストールをします。ドライバのセットアップ画面が表示されます。プリンタドライバのインストール項目へ続きます。
プリンタドライバがすでにインストールされている場合は、エディタのみのインストールで完了です。＜いいえ＞ボタンをクリックして、CD-ROMを取り出し、コンピュータを再起動してください。

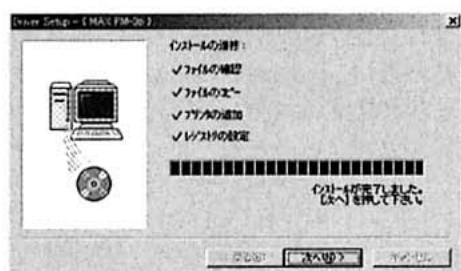
● プリンタドライバのインストール

シリアル接続の場合

1. 「シリアルケーブル」を選択して、＜OK＞ボタンをクリックします。
ドライバをインストールするかアンインストールするかを選択する画面が表示されます。

2. インストールするドライバが「MAX PM-36」になっていることを確認し、「インストール」を選択して、＜次へ＞ボタンをクリックします。

3. **Windows® 95/98/98SE/Meをご使用の場合：**
手順4へ進みます。
Windows® NT 4.0/2000/XPをご使用の場合：
Bepop mini専用のポートモニタ MAXPM36COMを追加する必要があるため、＜追加＞ボタンをクリックします。（すでにMAXPM36COMが追加されている場合は＜次へ＞ボタンをクリックし、手順4.にとびます。）

ポ-トはMAXPM36COMn:（nは整数）の中で、PM-36が接続されているポート（COM1: に接続されているときはMAXPM36COM1:、COM2: に接続されているときはMAXPM36COM2:）を選択して、＜OK＞ボタンをクリックします。

4. プリンタが接続されているポートを選択する画面が表示されます。
ポートはMAXPM36COMn:（nは整数）の中で、PM-36が接続されているポート（COM1: に接続されているときはMAXPM36COM1:、COM2: に接続されているときはMAXPM36COM2:）を選択して、＜次へ＞ボタンをクリックします。
（Windows® NT 4.0/2000/XPをご使用の場合は、手順3.で追加したポートを選択します。）

5. インストールするドライバと接続ポートを確認して、よろしければ<次へ>ボタンをクリックします。

6. インストールが始まり、しばらくすると終了します。<次へ>ボタンをクリックします。

7. ドライバセットアップが完了したら、パソコンからCD-ROMを取り出し、「はい、直ちにコンピュータを再起動します」を選択して、<終了>ボタンをクリックします。コンピュータが再起動し、すべてのインストールが完了します。

＊ 画面の内容が異なる場合がありますが、そのまま<終了>ボタンをクリックしてください。インストールが終了してコンピュータが自動的に再起動しない場合は、ご使用になる前にコンピュータを再起動してください。

USB接続の場合（Windows® 98/98SE/Me/2000）

Windows® XPに関しては、次ページをご覧ください。

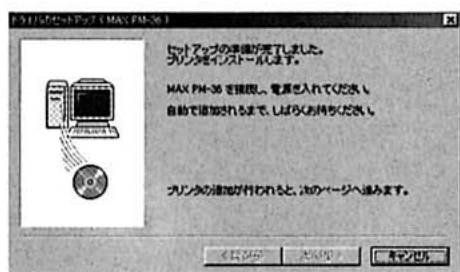
プラグアンドプレイは、パソコンに新しい周辺機器が接続された場合に、その周辺機器にふさわしいドライバをパソコンが自動的にインストールする機能です。PM-36をUSBで接続する場合は、このプラグアンドプレイ機能によってドライバのインストールが行われます。CD-ROMから供給されるファイルをインストールするため、必ずインストールの手順をよくお読みになった上で、インストールを行ってください。

注意

ここではBepop mini PM-36をパソコンと接続しないでください。P-touch Editor Version 3.1のインストールができなくなってしまう恐れがあります。

1. 「USBケーブル」を選択して、<OK>ボタンをクリックします。

2. ドライバセットアップの確認画面が表示されます。<次へ>ボタンをクリックします。

3. MAX PM-36の接続と電源ONを促す画面が表示されます。ここで14ページを参照し、PM-36とパソコンを付属のUSBケーブルで接続して、PM-36の電源をONします。

4. PM-36ドライバが自動的にインストールされ、完了画面が表示されます。<完了>ボタンをクリックします。

5. セットアップの完了画面が表示されます。「はい、直ちにコンピュータを再起動します」を選択して、<終了>ボタンをクリックします。コンピュータが再起動し、すべてのインストールが完了します。

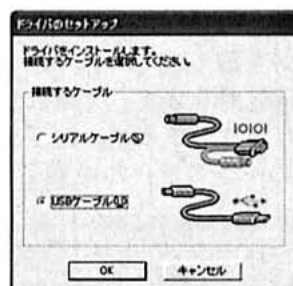
＊ 画面の内容が異なる場合がありますが、そのまま<終了>ボタンをクリックしてください。インストールが終了してコンピュータが自動的に再起動しない場合は、ご使用になる前にコンピュータを再起動してください。

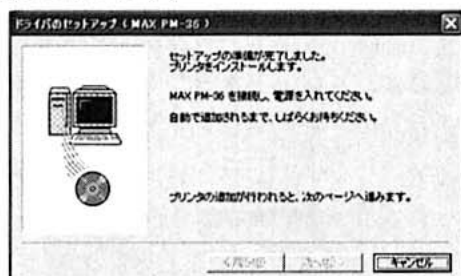
6. パソコンからCD-ROMを取り出します。

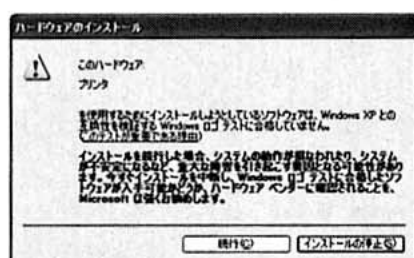
USB接続の場合（Windows® XP）

プラグアンドプレイは、パソコンに新しい周辺機器が接続された場合に、その周辺機器にふさわしいドライバをパソコンが自動的にインストールする機能です。PM-36をUSBで接続する場合は、このプラグアンドプレイ機能によってドライバのインストールが行われます。CD-ROMから供給されるファイルをインストールするため、必ずインストールの手順をよくお読みになった上で、インストールを行ってください。

注意
ここではBepop mini PM-36をパソコンと接続しないでください。P-touch Editor Version 3.1のインストールができなくなってしまう恐れがあります。

1. 「USBケーブル」を選択して、<OK>ボタンをクリックします。

2. ドライバセットアップの確認画面が表示されます。<次へ>ボタンをクリックします。

3. MAX PM-36の接続と電源ONを促す画面が表示されます。ここで14ページを参照し、PM-36とパソコンを付属のUSBケーブルで接続して、PM-36の電源をONします。

4. 新しいハードウェアの検出画面が表示されます。「ソフトウェアを自動的にインストールする（推奨）」を選択して、<次へ>ボタンをクリックします。

5. 「Windows ロゴテストに合格していません」という警告画面が表示されます。<続行>ボタンをクリックします。
   ＊ このドライバは、当社規定の厳しい品質基準をクリアしていますので、問題なくお使いいただけます。

6. PM-36のインストールが完了し、新しいハードウェアの検出完了画面が表示されます。<完了>ボタンをクリックします。

7. 再び「Windows ロゴテストに合格していません」という警告画面が表示されます。<続行>ボタンをクリックします。
   ＊ このドライバは、当社規定の厳しい品質基準をクリアしていますので、問題なくお使いいただけます。

8. ドライバのセットアップ完了画面が表示されます。<完了>ボタンをクリックします。

9. セットアップの完了画面が表示されます。「はい、直ちにコンピュータを再起動します。」を選択して、<終了>ボタンをクリックします。コンピュータが再起動し、すべてのインストールが完了します。

10. パソコンからCD-ROMを取り出します。

プログラムのアンインストール

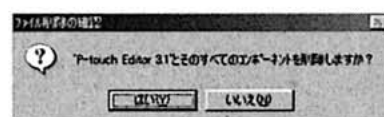
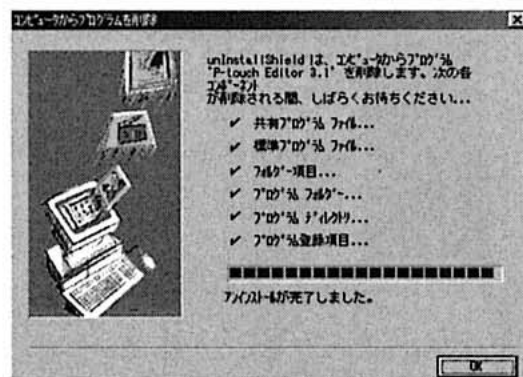
P-touch Editor Version 3.1及びプリンタドライバをパソコンから削除する場合は、次の手順で行います。

● P-touch Editor Version 3.1のアンインストール（Windows®95/98/98SE/Me/NT4.0/2000/XP）

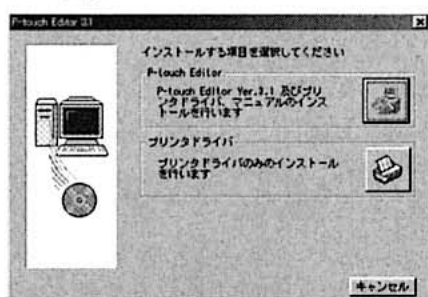
1. ハードディスクからWindows®95/98/98SE/Me/2000/XPまたはWindows®NT4.0を起動します。
2. タスクバーの「スタート」～「設定」～「コントロールパネル」を選択します。
   Windows®XPの場合は、「スタート」～「コントロールパネル」を選択します。
3. 表示された「コントロールパネル」ダイアログで、＜アプリケーションの追加と削除＞アイコンをダブルクリックします。
   Windows®XPの場合は、＜プログラムの追加と削除＞アイコンをダブルクリックします。

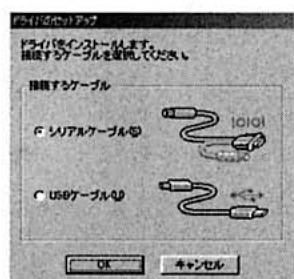
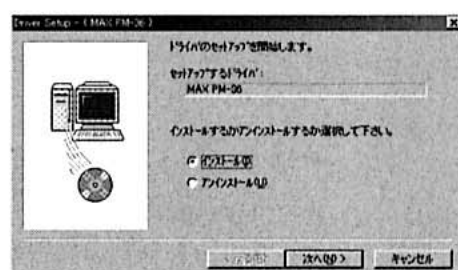
アプリケーションの
追加と削除

4. 表示された「アプリケーションの追加と削除プロパティ」又は「プログラムの追加と削除」ダイアログで、＜P-touch Editor 3.1＞を選択し、＜追加と削除＞又は＜変更と削除＞ボタンをクリックします。

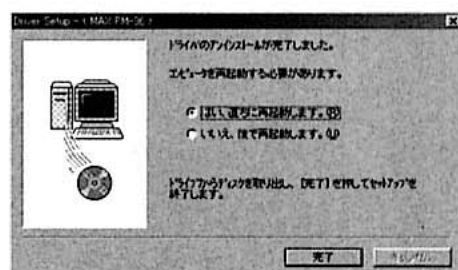
5. 「削除の確認」ダイアログが表示されます。削除する場合は、＜はい＞ボタンをクリックします。＜いいえ＞ボタンをクリックすると削除を中止します。

6. プログラムの削除が始まり、削除が終了すると＜OK＞ボタンがグレー表示から通常の色になります。＜OK＞ボタンをクリックします。

● プリンタドライバの置き換え、追加、削除（Windows®95/98/98SE/Me/NT4.0/2000/XP）

シリアル接続の場合

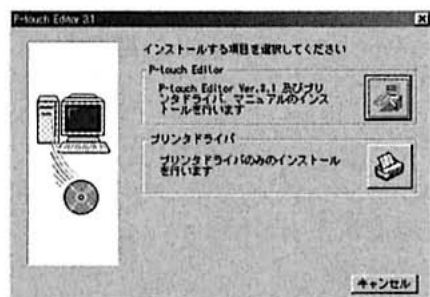
1. 13ページを参照し、PM-36とパソコンを付属のシリアルケーブルで接続して、PM-36の電源をONします。
2. 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。自動的にインストール項目の選択画面が表示されます。

インストール画面が自動的に表示されないときは、デスクトップ上の「マイコンピュータ」をダブルクリックし、CD-ROMを挿入したドライブをクリックします。（Windows®XPの場合は、スタートメニューの中のマイコンピュータをクリックし、CD-ROMを挿入したドライブをクリックします。）「Ptsetup.exe」アイコンをダブルクリックすると、インストール画面が表示されます。

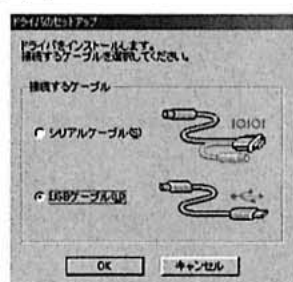
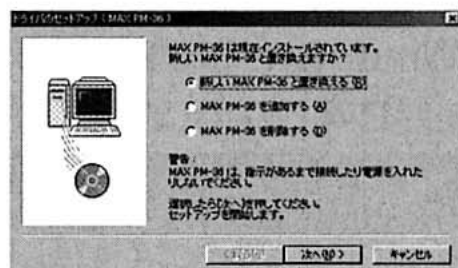
3. ＜プリンタドライバ＞アイコンをクリックします。
4. 「シリアルケーブル」を選択して、＜OK＞ボタンをクリックします。
ドライバをインストールするかアンインストールするか選択する画面が表示されます。

5. 「インストール」または「アンインストール」を選択して、＜次へ＞ボタンをクリックします。

6. 「インストール」を選択した場合：
20～21ページの、シリアル接続の場合の手順3.～7.を行います。
「アンインストール」を選択した場合：
PM-36プリンタドライバのアンインストールを確認する画面が表示されます。＜次へ＞ボタンをクリックします。

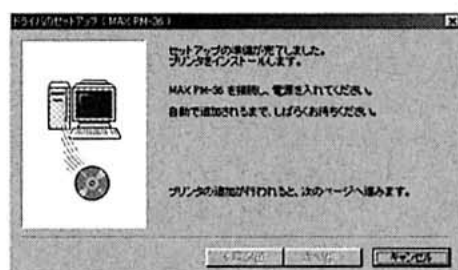
7. プリンタドライバのアンインストール完了画面が表示されます。＜次へ＞ボタンをクリックします。

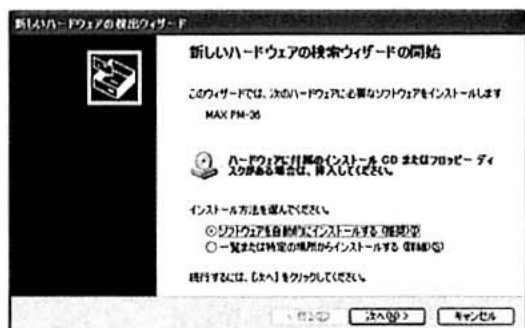
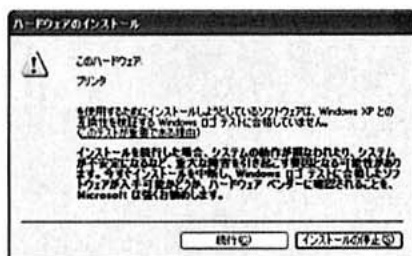
8. パソコンからCD-ROMを取り出し、「はい、直ちに再起動します」を選択します。＜完了＞ボタンをクリックし、コンピュータを再起動します。

USB接続の場合

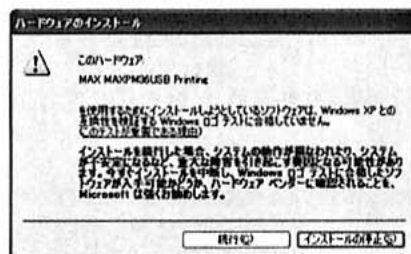
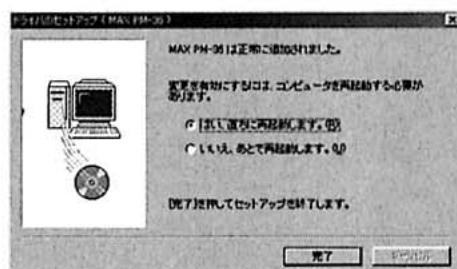
下記の手順で、PM-36プリンタドライバの置き換え、追加、削除を行うことができます。

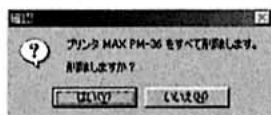
1. PM-36の電源をOFFにして、コンピュータからUSBケーブルを抜きます。
2. 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。自動的にインストール項目の選択画面が表示されます。

インストール画面が自動的に表示されないときは、デスクトップ上の「マイコンピュータ」をダブルクリックし、CD-ROMを挿入したドライブをクリックします。「Ptsetup.exe」アイコンをダブルクリックすると、インストール画面が表示されます。

3. <プリンタドライバ>アイコンをクリックします。
4. 「USBケーブル」を選択して、<OK>ボタンをクリックします。ドライバのセットアップ画面が表示されます。

5. 置き換え、追加、削除を選択して、<次へ>ボタンをクリックします。

「新しいMAX PM-36と置き換える」を選択した場合：現在インストールされているプリンタドライバが削除され、新しいプリンタドライバに置き換えられます。新しいバージョンのプリンタドライバや、OSがWindows® 2000で異なるシリアルナンバーの本体に変更する時に選択します。
「MAX PM-36を追加する」を選択した場合：新しいプリンタドライバを追加します。複数の本体を同じコンピュータで使い分ける時に選択します。Windows® 98/Meの場合、プリンタドライバは追加されず、新しいポートのみ追加します。

6. 「新しいMAX PM-36と置き換える」または「MAX PM-36を追加する」を選択した場合：MAX PM-36の接続と電源ONを促す画面が表示されます。

7. 14ページを参照し、PM-36とパソコンを付属のUSBケーブルで接続して、PM-36の電源をONします。PM-36ドライバが自動的にインストールされます。（手順12.へ飛びます。）

8. Windows® XPの場合：
新しいハードウェアの検出画面が表示されます。「ソフトウェアを自動的にインストールする（推奨）」を選択して、＜次へ＞ボタンをクリックします。

9. 「Windowsロゴテストに合格していません」という警告画面が表示されます。＜続行＞ボタンをクリックします。
＊ このドライバは、当社規定の厳しい品質基準をクリアしていますので、問題なくお使いいただけます。

10. PM-36のインストールが完了し、新しいハードウェアの検出完了画面が表示されます。＜完了＞ボタンをクリックします。

11. 再び「Windowsロゴテストに合格していません」という警告画面が表示されます。＜続行＞ボタンをクリックします。
＊ このドライバは、当社規定の厳しい品質基準をクリアしていますので、問題なくお使いいただけます。

12. セットアップの完了画面が表示されます。「はい、直ちに再起動します」を選択して、＜完了＞ボタンをクリックします。

13. パソコンからCD-ROMを取り出し、コンピュータを再起動します。

6. 「MAX PM-36を削除する」を選択した場合：
プリンタMAX PM-36をすべて削除する確認画面が表示されます。<はい>ボタンをクリックします。

7. 削除完了画面が表示されます。<完了>ボタンをクリックします。

コンピュータの再起動を促す画面が表示された場合は、<終了>ボタンをクリックしてコンピュータを再起動します。

第3章　P-touch Editor の
起動／終了と簡単な操作例

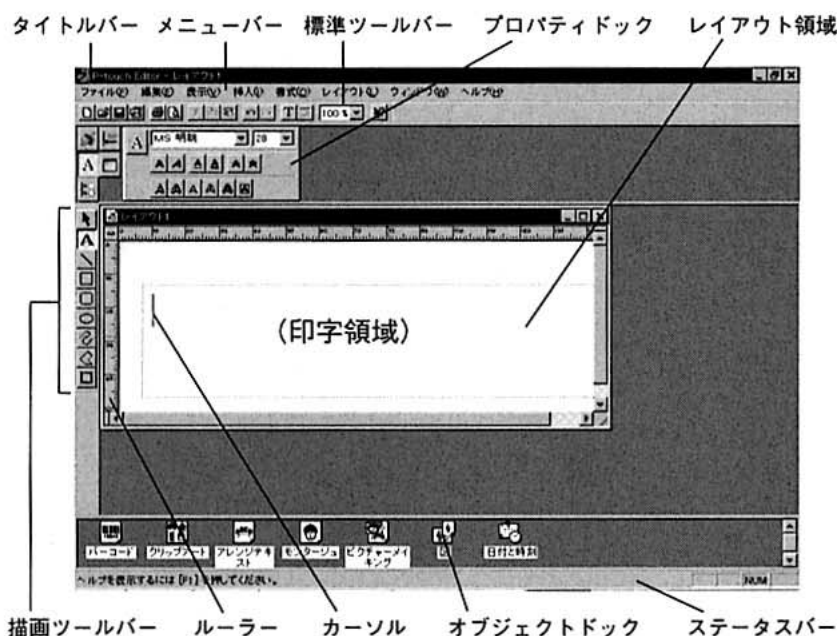
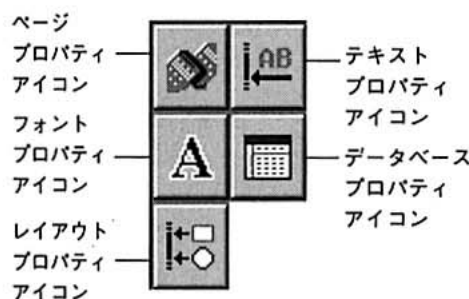
本章ではP-touch Editor Version 3.1の起動と終了方法および基本画面と、簡単な操作例について説明します。
詳しい説明はCD-ROM内のマニュアルをご覧ください。

P-touch Editor Version 3.1の起動と終了 (Windows®95/98/98SE/Me/NT4.0/2000/XP)

● P-touch Editor Version 3.1を起動する

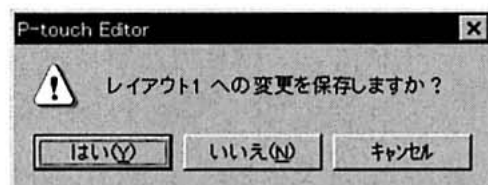
P-touch Editor Version 3.1 は、以下の手順で起動することができます。

1. タスクバーの＜スタート＞ボタンをクリックするとスタートメニューが表示されます。
2. 「プログラム」をクリックします。Windows® XPの場合は、「全てのプログラム」をクリックします。
3. 「P-touch Editor 3.1」をクリックします。
4. 「P-touch Editor 3.1」をクリックします。

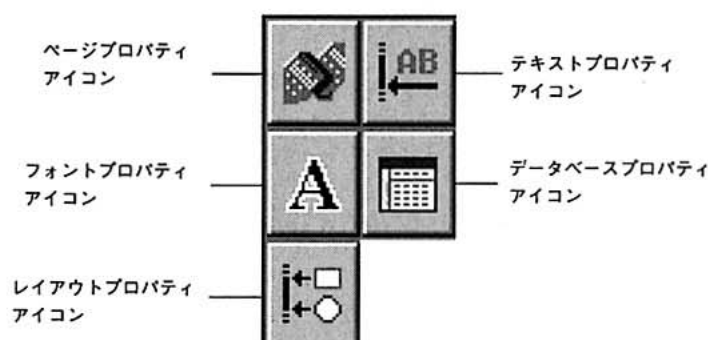
P-touch Editor Version 3.1が起動すると、レイアウト画面が表示されます。

プロパティドック

各アイコンをクリックして、そのプロパティを表示します。

● P-touch Editor Version 3.1を終了する

1. 「ファイル」メニューの「アプリケーションの終了」を選択します。
作成中のデータが保存されていない場合は、確認のメッセージが表示されますので、保存が必要な場合は、＜はい＞を選択します。

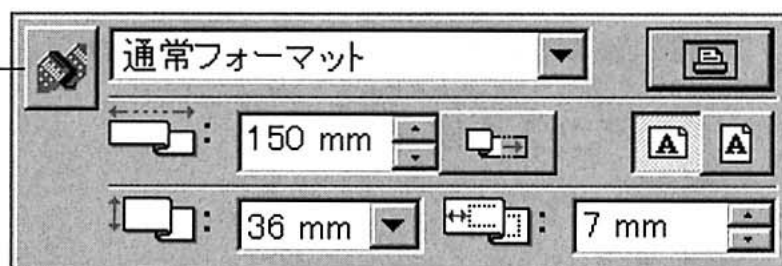
2. ＜はい＞を選択すると［保存］ダイアログを表示しますので、ファイル名を入力します。
＜いいえ＞を選択すると、保存せずに終了します。
＜キャンセル＞を選択すると、終了を中止します。

プロパティの表示

ここでは、Windows®95/98/98SE/Meの画面で説明しています。Windows®NT4.0/2000/XPをお使いの場合でも特に記述しない限り基本操作は同じです。

各プロパティは、プロパティドックのアイコンをクリックすることにより表示されます。

PM-36 プリンタ使用時

アイコンをクリックして、そのプロパティを表示します。

● ページプロパティ（ ）

このボタンをクリックするとプロパティの表示は消えます。

PM-36プリンタ使用時

他のプロパティについては、CD-ROMの「マニュアル」をご覧ください。

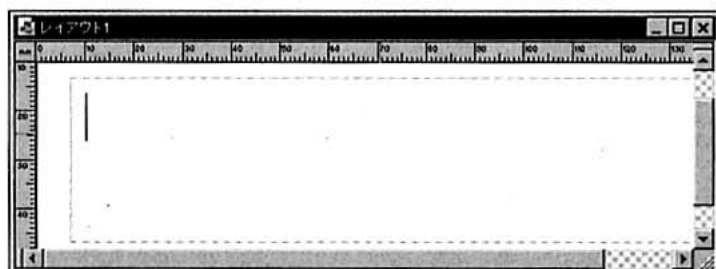
レイアウト画面の操作例

ここでは、Windows®95/98/98SE/Meの画面で説明しています。Windows®NT4.0/2000/XPをお使いの場合でも特に記述しない限り基本操作は同じです。

● 文字入力

1. 描画ツールバーの A （テキスト入力）ボタンをクリックします。
   テキスト入力モードになり、カーソルが（選択カーソル）から I（テキストカーソル）に変わります。

2. 文字を入力したい場所にテキストカーソルを移動し、クリックします。

3. 点滅カーソルが表示され、この位置から文字が入力できます。

4. キーボードから文字を入力します。

5. 次の行を入力する場合は、<Enter>キーを押します。

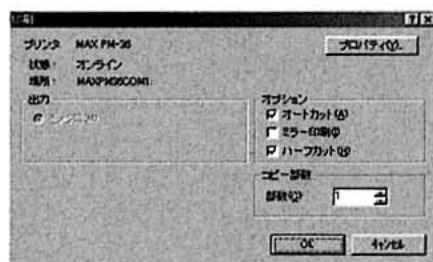
P-touch Editor Version 3.1の文字入力は、必ず挿入モードとなります。上書きモードに変えることはできません。

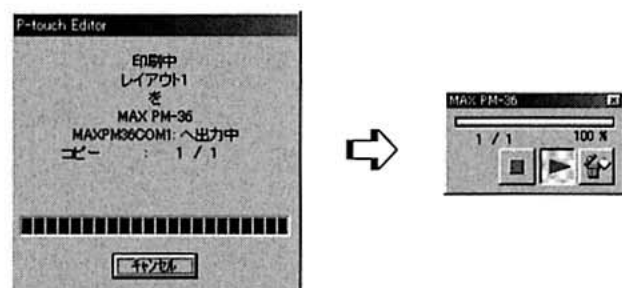
フォントや文字サイズなどを変える場合は、プロパティドックの各アイコンをクリックして、表示されたプロパティから選択してください。

● ラベルの印刷

1. 印刷の前に指定の幅のテープがセットされていることを確認します。

2. 標準ツールバーの 🖶 （印刷）ボタンをクリックします。

3. ［印刷］ダイアログが表示されます。必要な場合は印刷の設定を行います。
   表示されるダイアログは、レイアウトに表示されているデータの種類により異なります。

※ オプションについて
- オートカット　テープを印字した後、自動的にカットします。
- ミラー印刷　印刷するデータを鏡面印刷します。
- ハーフカット　テープ余白に切りこみを入れテープをはがしやすくします。
  （ラミネートテープのみに有効です。）

4. <OK>ボタンをクリックしてしばらくすると印刷を開始します。

※ その他の方法
- 「ファイル」メニューの「印刷」を選択しても［印刷］ダイアログが表示されます。

● データベースについて

基本操作に関しては、付属のCD-ROM内のマニュアルをご覧ください。（閲覧方法は45ページを参照してください。）

ここでは、データベース機能を使用する際の注意事項を記します。

- P-touch Editor Version 3.1(Windows®)のデータベース機能は、MS Access 97と互換性のあるデータベースファイルを使用しています。現在Microsoft Access 2000をご利用の方は、CD-ROM内に収録しているファイルを使用し、Access 2000互換に更新することが出来ます。
  CD-ROM内P-touch¥Editor¥Ac2k¥Readmeを参照し、ファイルを更新してください。
- P-touch Editor Version 3.1はmdbファイルの他に、csv形式のファイルをインポートすることが出来ます。Microsoft Excel等のファイルはcsv形式で保存することにより、P-touch Editorで使用することが出来ます。詳細については、付属のCD-ROM内のマニュアルをご覧ください。
- Microsoft Access 97をご利用の方は、Microsoft Access 97の機能を使用してExcelのファイルをmdbファイルにリンクさせることが出来ます。この機能を使用することで、Excelで更新したデータをすぐにP-touch Editorで利用することが出来ます。

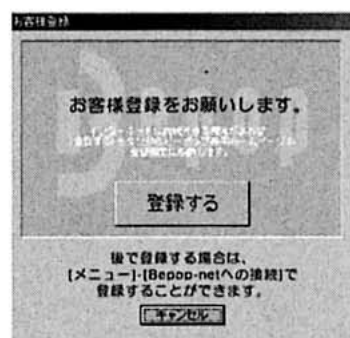
第4章　お客様登録とサポートについて

本章ではこまったときの対処方法について説明します。

お客様登録について

是非、お客様登録をお願いします。
特にインターネット経由でお客様登録いただきますと、Bepopユーザー専用のホームページにアクセスできるようになります。このホームページでは、最新情報やピクトサインのダウンロード、Q&Aなど皆様のお役に立てる情報の提供を行っております。

登録方法は次の3通りです。（P-touch Editorから登録する場合は、お使いのパソコンがインターネットに接続できる必要があります。）

1. P-touch Editorをインストール後、最初に起動したときに表示される「お客様登録画面」の＜登録する＞ボタンを押して登録する。（この画面は、最初の1回しか表示されません。）

2. P-touch Editorレイアウト画面で［ヘルプ］－［Bepop-netへの接続］を選択する。

3. 本体同梱のお客様登録はがきに必要事項をご記入の上、投函またはFAXする。

※お客様登録には、本体シリアルナンバー及びお客様のメールアドレスが必要です。

サポートについて

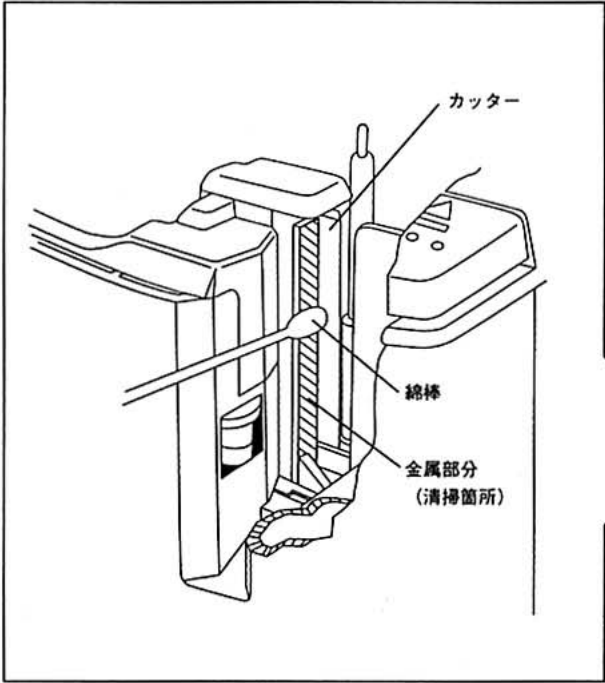
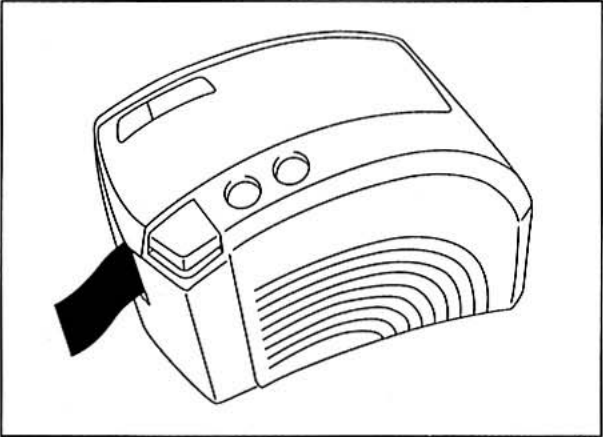
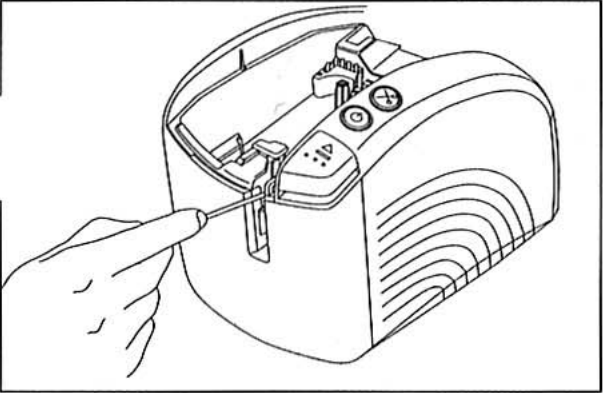
取扱説明書（本書）やユーザーズガイド（CD-ROM）をお読みいただいた上で、なおご不明な点がある場合は、下記までお問い合わせください。

Bepopユーザー専用ホームページ　：http://www.bepop-net.com

お客様相談ダイヤル　：0120－510－200
受付時間　：9：00～18：00（平日。祝祭日を除く当社営業日）

PM-36本体にエラーが発生したら

電源ON/OFFのLEDランプの動作により、PM-36の状態を知ることができます。

● PM-36本体の状態

LEDランプの状態	対処の方法
緑点灯	・PM-36は正常な状態で、受信待機状態です。
緑点滅	・PM-36は正常な状態で、パソコンからデータを受け取っています。
橙点灯	・受信待機中の場合は、カセットがセットされていません。カセットをセットしてください。カセットをセットすると印刷を開始します。 ・カバーが完全に閉じられていません。カバーを閉じてください。
橙点滅	・データ受信中の場合は、カバーが完全に閉じられていない、もしくはデータ受信中にカバーが開いてしまいました。カバーを閉じてください。カバーを閉じると印刷を開始します。
赤点滅 （対処を行い、印刷をやり直してください）	・印刷開始時の場合は、カセットがセットされていないか、テープがエンドになっています。カセットをセットしてください。 ・印字前または印字中にカバーを開いてしまいました。カバーを閉じてください。 ・通信エラーが発生しました。約5秒後に受信待機状態（緑点灯）になります。
赤点灯 （対処を行い、印刷をやり直してください）	・電源を一旦切ってから、入れ直してください。 それでも赤点灯が続くようでしたら、お買い上げの販売店にご相談ください。

トラブルシューティング

PM-36本体に何らかの問題が生じたと思われるがLEDによるメッセージでは判らない場合には、以下のトラブルリストを参照して、適切な対応策をとってください。

問　題	原　因	対応策
プリンタで印刷できない。 書き込みエラーが表示される。	・接続ケーブルの接続がゆるんでいる。 ・テープカセットが正しく装着されていない。 ・カセットコンパートメントのカバーが開いている。	接続ケーブル、テープカセット、カバーなどの確認をしてください。
印刷中、縞模様のテープが出てきた。	テープがなくなった。	新しいテープカセットを装着し、✂ <FEED/CUT>（テープ送り）ボタンを押すか、プリンタの電源を入れ直してください。
プリンタのLEDランプが点灯しない。	電源ケーブルがしっかり接続されていない。	電源ケーブルを確認してください。直らない場合は販売店にご連絡ください。
印刷したテープに線が入ってしまう。	プリンタヘッドかローラーが汚れている。	「プリントヘッド・ローラーの掃除」を参照して掃除してください。（P.40）
パソコン上に通信エラーが表示される。	出力先のポートがあっていない。	プリンタのプロパティで「印刷先のポート」をUSB接続の場合はMAXPM36USB:....シリアル接続の場合はMAXPM36COMn:（PCのCOM1に接続されている場合はMAXPM36COM1:を、COM2に接続されている場合にはMAXPM36COM2:)を選択してください。※1

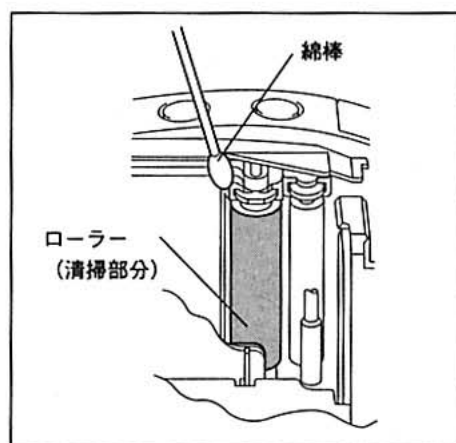
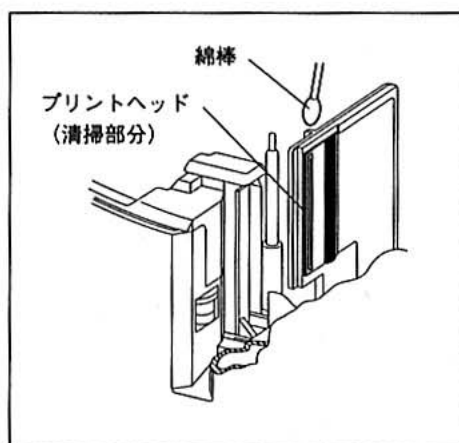
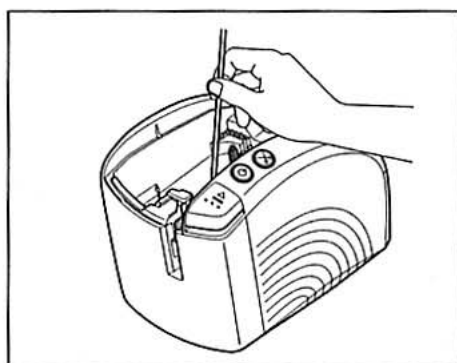
※1　USB接続で2台以上の同じP-touchの機種を接続されている場合は出力先のポートを「MAXPM36USB:」（Windows®2000の場合は存在しません。）ではなく「MAXPM36USB（PM-36-XXXXXXXXX）:」（XXXXXXXXXはシリアルナンバー）を選んでください。
シリアルナンバーは、本体底面に貼ってある銀色のシールに記載されているバーコードの上の文字列の中の下9桁のことです。

問　　題	対 応 策
テープカット後にテープが正常に排出されない。	PM-36の電源を「OFF」にします。 カセットカバーを開けます。 もし、カセットが入っていれば取り出します。 綿棒にアルコールを付けてテープ出口部の金属部分を清掃します。

カッター
綿棒
金属部分
（清掃箇所）

● プリントヘッド・ローラーの掃除

プリントヘッド・ローラーの汚れにより、印刷されたラベルに横線が入ることがあります。その場合は下記の手順に従ってプリントヘッド・ローラーを掃除してください。

1. PM-36の電源スイッチを「OFF」にします。
2. <カバーオープン>ボタンを押してカバーを開きます。
3. テープカセットを外します。
4. 綿棒を使ってプリントヘッドおよびローラー（アミかけ部分）を掃除します。

5. 掃除が終わったらテープカセットをセットし、カバーを閉じます。

▲ 注意
プリンタの内部にはカッターがあります。
掃除の時には手を触れないよう、十分に気を付けてください。
また、印刷直後はヘッドが熱くなっていることがあります。火傷に注意してください。

ヘッドクリーニングカセット（LM-C536（別売））をお買い求めいただきますと、より簡単に掃除できます。

付録

バーコード

商品管理やレジスターなどに利用できるバーコードラベルを、簡単に作成することができます。バーコードにはたくさんの規格がありますので、どのような規格で作成したいのか、また、読み取るバーコードリーダーの規格などを確認してから作成することをお勧めします。

P-touch Editor Version 3.1では、13種類の規格のバーコードとカスタマバーコード、QRCODEを作成することができます。

規格	使用可能文字	桁数	チェックディジット
CODE39	A～Z（大文字） 0～9,$,/,%,+ -,.,スペース	1～30	モジュラス43
I-2/5	0～9	1～30	モジュラス10
JAN13	0～9	12	モジュラス10
JAN8	0～9	7	モジュラス10
UPC-A	0～9	11	モジュラス10
UPC-E	0～9	6	モジュラス10
CODABAR (NW-7)	A, B, C, D（大文字） 0～9,$,/,:,+,-,.	3～30	モジュラス16
CODE128	全ASCII(128文字) 制御コード(37種類)	1～30	モジュラス103
EAN128	CODE128と同じ	1～30	モジュラス103
POSTNET	0～9	5,9,11	マルチプル10
LaserBarcode	0～9	3,5,7,9,11,13,15	*
ISBN-2	0～9	14	モジュラス10
ISBN-5	0～9	17	モジュラス10
カスタマバーコード	住所（全角日本語） 7桁郵便番号（半角数字）	1～99	**
QRCODE	全文字	1～1817	ー

* LaserBarcodeではデータ総和の1桁目をチェックディジットとします。

** カスタマバーコードのチェックディジットの計算

1. データの総和を求める
2. データの総和以上で、もっとも近い19の倍数を求める
3. 2.の結果から1.の結果を引く

カスタマバーコード用の郵便番号辞書は1998年5月27日の時点のものです。

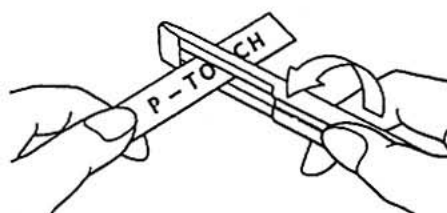
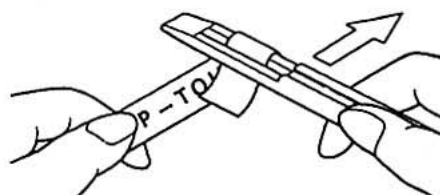
注意

バーコードの印刷に関しては、以下の点に注意してください。

- 本機はバーコードラベル専用機ではございません。
  本機で作成したバーコードラベルにつきましてはご使用のバーコードリーダーで読み取りが出来ることをご確認の上、お使いください。
- 万一、バーコードの誤読等による損害が発生いたしましても当方では一切責任を負いませんことをご了承ください。
- バーコードを印刷する場合は、必ず白ベース／黒インクのテープを使用してください。これ以外のテープでは、バーコードリーダーで読み取れないことがあります。
- バーコードの幅は、＜中＞または＜大＞に設定してください。＜小＞に設定した場合、バーコードリーダーによっては読み取れないことがあります。
- バーコードが含まれたラベルを、大量に連続して印刷すると、ヘッドが熱を帯びて、正しく印刷されないことがあります。

ラベルスティックの使い方

ラベルスティックは、転字テープご使用時のスタイラスとして、またラベルのはく離紙をはがしやすくするツールとしてご使用いただけます。
ハーフカット機能を使用しない場合、印刷したラベル面から裏紙がはがれにくい場合には、ラベルスティックを利用することで簡単にはがすことができます。（6〜24mmテープのみ）

1. 印刷したテープを左手に持ち、右手でラベルスティックを持ちます。
2. ラベルスティックの穴にテープを半分入れます。

3. 印刷された面を上にして、ラベルスティックを図のように回して引っ張ります。

本書とマニュアル（取扱説明書）について

本クィックリファレンスは、お使いになるための注意事項や最低限必要なことを記載しています。その他の詳細についてはインストールされたマニュアル（取扱説明書）または付属CD-ROM内のマニュアル（取扱説明書）をご覧ください。
マニュアル（取扱説明書）をご覧になるためには、パソコンにInternet Explorerがインストールされている必要があります。

⚠ ご注意

Internet Explorerがインストールされていない場合は、インターネット経由でダウンロードしていただくなどの方法でインストールしてください。
（お手持ちのブラウザでもご覧になることはできますが、Internet Explorer以外の場合一部正しく表示されない場合があります。Internet Explorerをお使いになることをお勧めします。）

マニュアル(取扱説明書)は二つの方法で使用できます。
（1）CD-ROMに入っているものを読む
（2）ハードディスクにインストールしたものを読む

◆ Windows®95/98/98SE/Me/NT4.0/2000/XPのとき

1. ハードディスクからWindows®95/98/98SE/Me/2000/XPまたはWindows®NT4.0を起動します。

2. 付属のCD-ROMをCD-ROMドライブにセットします。

3. タスクバーの「スタート」～「プログラム」～「P-touch Editor 3.1」～「マニュアル」をクリックします。

※ ハードディスクへインストールする場合は「P-touch Editor Version 3.1」をインストール時セットアップ方法で「カスタム」を選択し、「マニュアル」にチェックマークをつけてインストールしてください。

4. Internet Explorer（ブラウザ）が起動し、マニュアル（取扱説明書）の最初のページが表示されます。

5. 通常のブラウザの使い方と同じように、見たい項目をクリックします。

ハードディスクにインストールする場合

※　CD-ROM内の「マニュアルInstaller」を起動してください。
インストールして出来た「マニュアル」フォルダの「main.htm」を起動してください。

Bepop mini PM-36の使い方（基本の流れ）

（適切なソフトウェアがパソコンにインストールされており、適切に設定されている場合）

1. プリンタの接続

PM-36（本体）とパソコンを接続し、電源コードを接続します。
＜電源＞ボタンを押してPM-36の電源を入れます。
（シリアル接続の場合は、接続を終えPM-36の電源を入れてから、パソコンを起動してください。）

2. カセットの準備

＜カバーオープン＞ボタンを押してカバーを開け、TZカセット（6〜36mm）をセットしてカバーを閉じます。⊗＜FEED/CUT＞（テープ送り）ボタンを押してテープのたるみをとります。

3. P-touch Editorの起動

タスクバーの＜スタート＞ボタンをクリックします。
「プログラム」〜「P-touch Editor 3.1」〜「P-touch Editor 3.1」をクリックし、P-touch Editor 3.1を起動します。

4. テープ、文字の設定

「ページプロパティアイコン」をクリックしてページプロパティを表示し、セットしたカセットテープの幅を設定します。同様に「フォントプロパティアイコン」からフォントプロパティを表示し文字サイズ、書体を設定します。

5. 文字入力

入力画面左の A「テキスト入力ボタン」をクリックした後、入力したい場所にマウスポインタを移動させてからクリックし、その位置からキーボードで文字入力します。このとき次の行を入力する場合は[Enter]キーを押し、別の場所に入力したい場合は、入力したい場所をクリックして入力します。

6. ラベル印刷

4で設定したテープの幅のカセットがセットされていることを確認し、印刷ボタンをクリックして印刷ダイアログを表示し、内容を確認した後、「OK」ボタンをクリックしてラベルを印刷します。

7. 終了

印刷が終了した後「ファイル」〜「アプリケーションの終了」を選択し、データの保存が必要なければ［いいえ］をクリックしてソフトを終了します。

修理サービスおよび不明の点はお買い上げの販売店もしくは下記へお問い合わせください。

本社・営業本部	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6－6	TEL(03)3669-8108(代)
東京支店	〒103-8502	中央区日本橋箱崎町6－6	TEL(03)3669-8141(代)
札幌支店	〒060-0041	札幌市中央区大通東6－12－8	TEL(011)261-7141(代)
仙台支店	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2－1－29	TEL(022)236-4121(代)
名古屋支店	〒461-0025	名古屋市東区徳川1－11－23	TEL(052)935-8531(代)
大阪支店	〒553-0004	大阪市福島区玉川1－3－18	TEL(06)6444-2031(代)
広島支店	〒733-0035	広島市西区南観音7－11－24	TEL(082)291-6331(代)
福岡支店	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1－5－1	TEL(092)411-5416(代)
盛岡営業所	〒020-0824	盛岡市東安庭2－10－3	TEL(019)621-3541(代)
南九州営業所	〒891-0115	鹿児島市東開町3－24	TEL(099)269-5347(代)
新潟マックス㈱	〒955-0081	三条市東裏館2－14－28	TEL(0256)34-2140(代)
群馬マックス㈱	〒379-2215	佐波郡赤堀町大字今井543－2	TEL(0270)62-1123(代)
埼玉マックス㈱	〒331-0044	さいたま市日進町3－421	TEL(048)651-5341(代)
千葉マックス㈱	〒284-0001	四街道市大日1870－1	TEL(043)422-7400(代)
横浜マックス㈱	〒241-0822	横浜市旭区さちが丘7－6	TEL(045)364-5661(代)
長野マックス㈱	〒399-0033	松本市笹賀8155	TEL(0263)26-4377(代)
静岡マックス㈱	〒422-8036	静岡市敷地1－3－26	TEL(054)237-6116(代)
金沢マックス㈱	〒921-8061	金沢市森戸2－15	TEL(076)240-1871(代)
京滋マックス㈱	〒612-8414	京都市伏見区竹田段ノ川原町9	TEL(075)645-5061(代)
兵庫マックス㈱	〒652-0832	神戸市兵庫区鍛冶屋町2-1-2	TEL(078)652-7370(代)
岡山マックス㈱	〒700-0971	岡山市野田3－23－28	TEL(086)246-9516(代)
四国マックス㈱	〒761-8056	高松市上天神町761－3	TEL(087)866-5599(代)
徳島営業所	〒770-0866	徳島市末広1－4－25	TEL(0886)23-0286(代)
松山営業所	〒790-0951	松山市天山2－1－35	TEL(089)913-0608(代)
マックスサービス㈱本社	〒330-0038	埼玉県さいたま市宮原町2－99－5	TEL(048)667-6448(代)
マックスサービス㈱札幌	〒060-0041	札幌市中央区大通東6－12－8	TEL(011)231-6487(代)
マックスサービス㈱仙台	〒984-0002	仙台市若林区卸町東2－1－29	TEL(022)237-0778(代)
マックスサービス㈱玉村	〒370-1117	佐波郡玉村町大字川井1848-1	TEL(0270)64-3950(代)
マックスサービス㈱名古屋	〒461-0025	名古屋市東区徳川1－11－23	TEL(052)935-8210(代)
マックスサービス㈱大阪	〒553-0004	大阪市福島区玉川1－3－18	TEL(06)6446-0815(代)
マックスサービス㈱広島	〒733-0035	広島市西区南観音7－11－24	TEL(082)291-5670(代)
マックスサービス㈱福岡	〒812-0006	福岡市博多区上牟田1－5－1	TEL(092)451-6430(代)

●住所、電話番号などは都合により変更になる場合があります。

LA7878001